

新宮山彦ぐるーぶ第1863回

## 深仙小屋第二次増床工事と南奥駈道笹刈り整備

◇実施日：平成28年4月2日(土)～3日(日)

◇参加者：青木宏充(1泊2日)、梶野照雄(2日日帰り) 2名。

### 4月2日(土) 霧雨

先週、青木さんが「荷物、運ぶで」と言ってくれたので、60cm以下のパーツを宅配便で青木宅宛に送った。3日の山行の際に組み立てを行うつもりだったが、松本さんから延期の連絡が入る。天気予報を見て、2日に行くことにした。



太尾登山口で



千丈平で



かくし水は出ていた

西吉野付近で車を止め、朝ドラの最終回を見る。午前9時40分に登山口着。旭口では良いお天気だったが、林道を登るにつれてガスの中となり、登山口では霧雨が降っている。どうやら標高の高い部分は雲の中に入っているようだ。

準備をして出発する。尾根へ出ると強い東からの風で、肩にかけた195cmの材木がおおられ、一瞬体がふらつく。

不動木屋登山口分岐、古田の森で小休止、千丈平でかくし水を確認に行く。10日前にはまだ雪に埋もれていたが、雪解けが進み勢いよく水が出ていた。

深仙宿までのトラバースルートには、新しい笹刈の跡が見られ、一目で青木さんの作業跡だとわかる。

12時を少し過ぎて、青木さん先着の深仙宿に到着。灌頂堂にある脚立を出して小屋に向かう。



笹刈の跡



伊富喜行者石碑で



深仙宿到着

小屋に着くのと同時に、順峰の女性2名が到着する。玉置山、行仙、持経と泊まって、今日は楊枝宿までだそうだ。青木さんは、時間やルートについてアドバイス。2人は立ったままパンをちぎって食べているので、昼食に持ってきた巻き寿司を一切れずつ食べてもらう。

帰りが遅くなることも予想し、食料は余分に持って来ていたので、もう少し食べてもらってもよかったですかなーと思った。



順峰の2名



青木さん、アドバイス



囲炉裏の縁を割る



直角に開く



組み立て中



床板の清掃

その後、もう一名が到着。昨年行仙宿小屋に泊まったそうので、青木さんも思い出したようだった。

ハンマーとタガネを出し、ドアが引っかかっている囲炉裏の縁と土間のコンクリートを、青木さんと交代して割る。

ドアは90度まで開くようになり、囲炉裏が外から見えるようになったので、煙の抜けが多少良くなるかもしれないが、丁番の取り付け位置の関係で、これ以上は開くことが出来ない。

青木さんは13時前にヘッジトリマーを持って、太古の辻方面の笹刈に出発。私はアルミアングルの組み立てを始める。前回はパーツの順番を間違えてしまったため、今回は全てのパーツに番号を付けた。

組み立ては順調に進み、梁から降ろした板の掃除をする。長年置いてあったので、煤やほこりで真っ黒になっていた。プラスチックのヤスリで擦ってある程度は落ちたが、濡れた手で触ると、手が黒くなる。次回、塗装することを考えている。

寸法を測ってノコで切断、木ネジで裏から固定して増床完了。足を若干切って高さを調整して完成。



アングル完成



寸法を計って切断



増床完成

散らばった工具を集めて、用意したLED照明器具を取り付ける。南側に3個、東西に1個ずつ、5個を取り付けた。邪魔にならないよう、高い位置に付けたので、照明効果は少し落ちるかもしれない。





用意したLED照明



取付け状況



本日予定した作業はすべて終了。時間も想定していた3時間以内に終えることができた。笹刈に出かけた青木さんはまだ戻ってこないのので、書置きをして15時に小屋を後にする。

霧雨はまだ止まない。千丈平を過ぎると相変わらずの強い風で、傘をさしたり畳んだりが続く。不動木屋登山口分岐まで休まず歩き、17時15分に登山口に戻った。



外から見通しだ



帰り道、千丈平で



下山

今回で増床工事は終了。同じ方法で床を増やすと、小屋内での移動が不自由になる。これ以上の増床は、2段ベッドにするしかないと思われるが、木材の搬送は重くてかさばるので、できればやりたくない。  
前回、材木(各5kg)を荷揚げしていただいた山口、塩川両氏と今回もアングルの大半(47kg)を運んでいただいた青木氏に感謝申し上げます。

4月2日(土)

09:40 太尾登山口 09:45→11:28 千丈平 11:38→12:07 深仙小屋・昼食↓作業 15:00→16:37 不動木屋登山口分岐 16:42→17:15 太尾登山口。

(記 梶野)

### 南奥駆道笹刈整備(仙人舞台石付近)

4月2日(土) 霧雨

午前6時出発 8時15分登山口着 登山口のトイレはまだ鍵がかかっている。8時30分スタート、11時30分小屋着。今回は、1泊分の荷物と 台のアルミアングル+ヘッジトリマー+予備バッテリー4個 ↓↓↓ 重い。

早目の昼食。梶野さん到着後、バリカンとバッテリーを持って出発。蘇莫岳・仙人舞台石を過ぎ、下った所まで笹刈し、折り返し小屋に向かう。ずくずくと霧雨。

15時30分小屋着。すでに梶野さんは帰路に、小屋にはいない。香水に水汲み。申し分のない水量。

試しに薪を焚いてみた。扉が完全に半開できるので、煙抜けは前より格段にいいが、依然として煙く涙が・・・。

窓の取付けに期待すること大です。  
あと、台の下にゴム引いたらどうですか？安定すると思います。  
夕食後、20時就寝。夜半から本格的な雨。

#### 4月3日 雨 小屋内0℃

6時起床。強雨！ 前日に作業をして正解でした。朝食後、清掃して8時出発。登山口10時15分着。

誰にも会わず。ただ1台駐車あり。

五条市に11時30分着。あまりにも時間が早いので、以前から気になっていた五新線の跡地へ。

2時間ぐらいかけて歩いたり車で移動したり…。なんか立派な神社もあってりして。(記 青木)



仙人舞台石の道標



笹刈後の奥駈道